

# Manifesto

民主党の政権公約 マニフェスト「生活篇」

「まともじゃない日本」の不安に  
民主党マニフェストが答えます。

## 3つの約束

- 01 「年金通帳」で消えない年金。国が責任を持って全額支払います。
- 02 安心して子育てできる社会。1人月額2万6000円の「子ども手当」を支給します。
- 03 農業の元気で、地域を再生。農業の「戸別所得補償制度」を創設します。



民主党代表 小沢一郎

「国民の生活が第一」を実現する  
私は必ずやります。

私たちには必ず実行します。

政治とは何か――。

その答えは一つしかない。国民が安心して暮らせるようにすること。

それこそが政治の役割であり、それを実現することが政治家の使命である。

では、今の日本に「政治」はあるか?

自由競争と改革という美名のもと、国民は一方的に重い負担を強いられ、

様々な格差が社会を壊そうとしている。

国と国民との契約である年金、医療、介護さえ信じられない。

今こそ、日本に「まともな政治」を取り戻そう。国民が安心して生活を送れる国にしよう。

この国を立て直すチャンスは、今しかない。

国民の利益を守り、日本の将来を守るため、私は三十八年間の政治生活のすべてをかける。



「生活」を搖るがす年金、子育て、農業……

# いまの日本には不安がいっぱいです。

日本はすでに、世界に例のない極端な「少子高齢社会」になろうとしています。ところが、まともな政策は何もない。それどころか、国が国民に確約したはずの年金さえ、信じられない状況です。地域社会の崩壊も、手遅れ寸前です。だから民主党は、年金、子育て、農業の『3つの約束』から、「国民の生活が第一」の政治を始めます。

A Q  
年金制度が危ないのは、ずさんな管理だけじゃなくて、ムダづかいのせいでもあるんじょ? これはなくならないの?

A Q  
年金制度の「元化で信じられる年金」をつくります。

31歳・自営業です。今の制度のままで、年金って本当にもらえるの? 消えたり、もらえなくなったりしそうで不安です。

Q A  
年金制度が危ないのは、ずさんな管理だけじゃなくて、ムダづかいのせいでもあるんじょ? これはなくならないの?

A Q  
社会保険庁は解体し、より厳格な管理体制を築きます。

年金が消えるなんてあり得ない! そんない加減な社会保険庁なんか、いるなと思うのですが……。

Q A  
年金制度が危ないのは、ずさんな管理だけじゃなくて、ムダづかいのせいでもあるんじょ? これはなくならないの?

Q A  
年金保険料は年金給付にしか使いません。

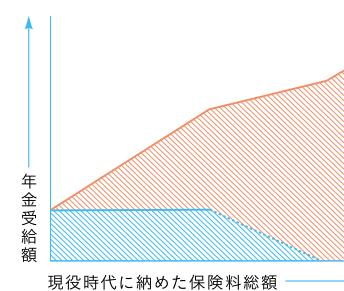
Q A  
年金保険料は年金給付にしか使いません。

年金のムダづかいはこれからも続くんですか?

3つの約束

01

「年金通帳」で消えない年金。  
国が責任を持って全額支払います。



民主党案の年金将来像(イメージ)

所得比例部分

= 納付した保険料に応じて受給

= 納めた保険料は必ず戻る

基礎部分(最低保障)

= 財源は全て税

一元化した新しい年金制度は、すべて税金でまかぬ全加入者共通の基礎部分と、納めた保険料に応じて受け取る所得比例部分とで成り立つ「二階建て」の年金です。ただし、高額所得者については、基礎部分の給付を制限します。

いじめや自殺が  
とても心配です。

そんな報道に接するたびに、わが子を小学校に通わせるのが怖くなります。この不安を解消する方法はありますか？

A 親や地域も協力して  
学校運営に当たります。

いじめや自殺問題の責任を現場にだけ押しつける、今の教育制度を一新します。まず、義務教育における国の責任を明確にします。

その一方で、学校の運営は地方自治体が責任を持つ行います。その環として、親・地域住民・教育専門家も参加する「学校理事会」を設置し、みんなで協力して学校づくりを進めます。

教育費が年々  
増えて家計が  
大変です。

中学2年の息子と小学5年の娘を持つ母親です。教育費が年々増え、家計のやりくりがかなりきつくなっています。中学校卒業後はさらに厳しくなることを考えると、とても憂鬱です。

A 高校を無償化し、  
奨学金制度を拡充します。

子どもたちに等しく教育のチャンスを保障するため、公立高校の授業料などを無料にします。また、大学や専門学校の奨学金制度を拡充して、家計の負担を大きく減らします。

子どもを育てる  
余裕がありません。

我が家は共働きですが、経済的に余裕がなく、子どもを産んで育てていく自信がありません。

「子ども手当」をつくります。親だけに子育ての責任を負わせるのではなく、社会みんなで子育てと教育を支える仕組みをつくります。まず、誰もが安心して子どもを産み、育てることができるように、1人当たり月額2万6000円の「子ども手当」を創設して、義務教育終了まで手当を支給します。

いじめや自殺が  
とても心配です。

そんな報道に接するたびに、わが子を小学校に通わせるのが怖くなります。この不安を解消する方法はありますか？

A 親や地域も協力して  
学校運営に当たります。

いじめや自殺問題の責任を現場にだけ押しつける、今の教育制度を一新します。まず、義務教育における国の責任を明確にします。

その一方で、学校の運営は地方自治体が責任を持つ行います。その環として、親・地域住民・教育専門家も参加する「学校理事会」を設置し、みんなで協力して学校づくりを進めます。

教育費が年々  
増えて家計が  
大変です。

中学2年の息子と小学5年の娘を持つ母親です。教育費が年々増え、家計のやりくりがかなりきつくなっています。中学校卒業後はさらに厳しくなることを考えると、とても憂鬱です。

A 高校を無償化し、  
奨学金制度を拡充します。

子どもたちに等しく教育のチャンスを保障するため、公立高校の授業料などを無料にします。また、大学や専門学校の奨学金制度を拡充して、家計の負担を大きく減らします。

子どもを育てる  
余裕がありません。

我が家は共働きですが、経済的に余裕がなく、子どもを産んで育てていく自信がありません。

「子ども手当」をつくります。親だけに子育ての責任を負わせるのではなく、社会みんなで子育てと教育を支える仕組みをつくります。まず、誰もが安心して子どもを産み、育てることができるように、1人当たり月額2万6000円の「子ども手当」を創設して、義務教育終了まで手当を支給します。

Q いまのままでは  
我が家家の農業  
経営が心配です。

先祖代々続いた農家を継ごうと思っています。しかし、今後の農業経営に対する不安が拭えません。

A 「戸別所得補償制度」で  
農業経営を安定させます。

農家が安心して農業に取り組み、農産物を安定して供給できる体制を確立するために、「戸別所得補償制度」を創設します。それによって農業経営を安定させるだけでなく、日本人のふるさとである地域社会を再生させます。日本の美しい自然環境を守ることもできます。

Q 食品の安全を  
守つてもらいたい！

食の安全が疑われる事件が多く、非常に不安を感じています。子どもに安心して食べ物を与えられるようにして下さい。

A 安全な食料を国内で  
安定供給します。

誰もが安心して食生活を送ることができるよう、食料の国内自給率を高める仕組みを確立します。また、あらゆる食品について、食材の原产地表示を義務づけるとともに、生産流通表示制度を拡充し、「食の安心」を確保します。

農業の元気で、地域を再生。  
農業の「戸別所得補償制度」を  
創設します。

03

3つの約束

3つの約束

02

安心して子育てできる社会。  
1人月額2万6000円の  
「子ども手当」を支給します。

## 7つの提言

提言  
01

雇用を守り、  
格差を正す。

提言  
02

医師不足を  
解消して、  
安心の医療を  
つくる。

提言  
03

行政のムダを  
徹底的になくす。

提言  
04

地域のことは  
地域で決める  
「分権国家」  
を実現する。

提言  
05

中小企業を  
元気にして、  
日本経済を  
生き返らせる。

提言  
06

地球環境で  
世界を  
リードする。

提言  
07

主体的な  
外交を  
確立する。

Q

「天下り」が  
許される今の  
日本はおかしい！

A 天下りのあっせんを  
全面的に禁止します。

役人の天下りは、政府・与党のよう  
に「天下りバンク」をつくって事  
実上公認するのではなく、あっせん  
を全面的に禁止します。さらに、  
官製談合を根絶し、特殊法人・独  
立行政法人などを原則廃止して、  
税金のムダづかいを徹底的になく  
します。

Q

医師が少ないと聞き  
心配しています。

A 医師不足を解消して、  
安心の医療をつくります。  
医師・看護師などの配置を適正化  
する緊急行動計画を策定し、医師  
不足を解消します。特に、産科・小  
児科の医師不足は、地域に深刻な  
影響を及ぼしているので、最優先  
で解決します。

Q

賃金の差を  
なくして欲しい！

A 私は契約社員ですが、仕事内容は  
正社員とほとんど変わりません。  
それなのに、賃金に大きな開きがあ  
ります。不思議で仕方ありません！  
パート・契約社員を  
正社員と均等待遇にします。  
労働時間や仕事内容が同じであ  
れば、パート・契約社員も正規社  
員の待遇と均等にします。働き方  
によって賃金その他の労働条件が  
著しく不公平にならない、合理的  
な原則をつくります。

A

Q

勤め先がつぶれない  
かも心配です。

時給が安くて、生活がとつても苦  
しいです。時給を上げてほしいけ  
れど、かといって勤め先の工場が潰  
れてしまつては元も子もないし……。  
まじめに働いた人がきちんと生計  
を立てられるように、三年をめどに、  
最低賃金を全国平均で時給千円  
に引き上げていきます。そのため  
にも、中小企業支援の予算を三倍  
にして、あなたの街の会社や商店  
街を元気にします。

行政から雇用まで

# まともな政治で なんとかしてほしい。

民主党の「まともな政治」は、国民と政治との信頼関係を  
築き直すところからスタートします。

そして、目指すゴールは、様々な人たちが支え合う  
共生の社会であり、地球のためにがんばる日本です。

『7つの提言』は、そのための具体策です。